

# 光市医師会報

平成元年1月号

No. 195



初詣

光市医師会

## 年頭にあたって

光市医師会長 竹中昭二

昨年は天皇陛下御不豫の為、自粛ブームの中での越年という事でありましたが、皆様方には御健勝のうちに新しき年を迎えられました事と拝察致し心よりお慶び申し上げますと共に、元旦にあたり会員諸兄及び家族御一同様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、瀬戸大橋の開通、或は青函トンネル開業等の朗報のあった反面、潜水艦衝突事故、中国に於ける修学旅行の列車事故等悲惨な事例もありました。スポーツ面ではソウルのオリンピック開催、千代の富士の53連勝等血を湧かせる様なニュースが報道されるかと思えば非常に不愉快なリクルート疑惑事件等の発生もみました。

一方医療界に目を転じますと、健康保険診療費のマイナス改定にみられる様に医療費の締めつけ、山口県地域医療計画の策定実施による駆け込み増床の問題、惑は税制改革に伴う医師税制に対する余波等納得出来ない事の多い年でありました。

我が光市医師会に於ては2名の会員を病魔の為に失い、ストレスの多い職業故に殊更に健康管理の重要さを感じさせられました。御遺族の方々は淋しい正月を迎えられた事と存じ御心情をお察し申し上げますと共に死去された会員の御冥福を深くお祈り申し上げます。又昨年中に2名の開業会員の入会がありました。高齢化しつつある医師

会に若い力が注入され、今後におおいに期待されるものであり、医師会の平均年令が引き下げられた事は朗報の一つでしょうか。

尚、永年の懸案でありました光市医師会定款も定款等改定委員会の御努力と会員全員の御協力で改定決議され本年四月より発効し新しい医師会活動の原動力となるものと信じております。

この様なことで医療界をとり巻く社会状況の目まぐるしい変化の中で新年を迎えた訳ではありますが今年1年会員の皆様にとりましても又私自身にとりましても悔いのない1年にしたいものと念願致しております。

本年も昨年に引き続き国民医療費の上昇に対する医療費の締めつけが予想され、殊に来年は老人保険法の見直しの年との事で、すでに老人の医療制限の為の定率化負担に関する話題もちらほら出ておりますし、又昨年末国会を通過成立しました税制改革の為医師税制の五段階制の一部が手直しされた結果税務事務上の煩雑さも加わる等、医療環境は益々悪くなる事と思われます。他方勤務職員の労働時間短縮に係る問題、週休二日制に関する労務問題等医療経営をとり巻く問題は今后論議の対象となる事も予想され本年も多難な年になるのではないのでしょうか。

医療界については明るい話はあまりありませんがこの様な状況下にあっても医師本

来の使命である地域医療、救急医療或はプライマリケア等に積極的に対応し、生涯研修による医療技術の向上に努める事が肝要と痛感されます。

「一年の計は元旦にあり」と申しますが会員の皆様、充分に健康に留意され、夢と

希望をもってこの一年悔いない年になる様に、又現医療態勢の改善の為に邁進しましょう。

年頭にあたり、いささか所感を述べて御あいさつと致します。

元 旦

## 昭和63年度 光市医師会臨時総会

昭和63年12月15日(木) 午後5時30分～

光市立病院講義室

出席者 41名

1. 開会のことば

2. 会長挨拶

3. 議長挨拶

4. 議 題

第1号議案 光市医師会定款改定の件 (決議事項)

第2号議案 光市医師会裁定委員選出の件 ( )

5. 閉会のことば

### (議事経過)

福本副会長：開会のことばを述べる。

竹中会長挨拶：

永年の懸案だった光市医師会の定款及び定款細則の改定につきまして、本年6月に定款等改定委員会を発足させ、廣田会員を委員長に、田中、中村(国)、中村(琢)

福本、藤原、吉村各会員を委員として6回に亘り検討して頂きました。そして11月の月例会に於て改定案を説明致しましたが、本日はその件について臨時総会を開催し御検討頂き、改定案を議決して頂きたいと思っております。どうぞよろしくおね



がい致します。

廣田議長：臨時総会の開会を宣言する。出席41名で会員総数50名の3分の2以上になり、総会の成立を宣言する。(定款第25条3項4項)。議事録署名委員に中村琢美会員、河内山正会員を指名し議事に入る。

第1号議案：竹中会長説明

新しい光市医師会定款案の主な改定点は条項第1条(事務所)、第4条、第8条、第11条、第20条、第23条、第33条2項(委任状の効力)、第42条2項(会計の出納)、第48条2項3項(暫定予算)第56条(基金)で、夫々を説明する。

廣田議長：第1号議案について質疑を求める。

藤原会員：会計の担当として、定款第56条2項に基金は総会の議決を経なければ処分することが出来ないとある。基金規則第4条には基金の運営は理事会で行うとあり、実際に基金より借用し無利子で返却しているわけであるが、今後も運営上必要なら第56条2項に拘らず一時借入してもよいか。

竹中会長：基金規則はなるべく早く理事会で検討して改定する予定なので来年度には支障ないようにしたい。

廣田議長：その他質疑を求める。



米今会員：定款第58条2項は第33条2項と重なるのではないか。

廣田議長：定款等改定委員長の立場で、第58条は定款の変更の項であって、第33条とは全く別のことである。

廣田議長：他に意見なく、全員に賛否を問い、全員賛成の挙手にて議決された。

つづいて光市医師会定款施行細則案について

竹中会長：改定案を説明する。

光市医師会定款施行細則案の主な改定点は条項第2条(会員の種別)、第11条2項、第16条2項で夫々を説明する。

なお定款並びに定款細則の施行日を昭和64年4月1日にしたい。

廣田議長：全員に質疑を求める。

横山会員：昭和64年を1989年とすべきではないか。

竹中会長：定款は年号で表記するのが習慣であり登記は来年4月以後になるので、その折に新年号に改めることを了解して欲しい。

廣田議長：他に意見なく、全員に賛否を問い全員賛成の挙手にて議決された。

第2号議案：竹中会長説明

松村会員が山口県医師会裁定委員になられ、光市医師会裁定委員を辞任しなければならないので、その後任を選出して

欲しい。

廣田議長：選出方法を全員に尋ね「会長に一任では」と言う意見に、全員賛成の拍手で会長一任に決定。

竹中会長：松村会員の後任として光市立病院院長板垣会員を推薦したい。その理由として、板垣会員は永らく光市医師会理事を務められ、又市立病院の医局員も増え開業医と市立病院との関係や医事紛争問題が起きた時など考えて板垣会員が最適任者である。

廣田議長：全員に意見を求める。

米今会員：診療所医師として会社とのトラブル等も裁定して頂けるのか。

廣田議長：医師会の裁定委員会は医師会内部のトラブルの裁定であって、会社等のことはタッチ出来ない。

板垣会員の裁定委員の件については全員賛成の拍手にて決定。

廣田議長：これにてすべての議案審議終了したことを述べ、閉会を宣言する。

終了時間 午後6時30分

(議事録より抜粋一文貴吉村)

総会に引き続き

### (連絡事項)

- 1) 医師届出票の提出について
- 2) 糖尿病患者会の件
- 3) じん肺診断技術研修会開催について
- 4) 昭和63年度第2回胃がん検診研究会について
- 5) 昭和63年度山口県優生保護審査会の開催について
- 6) 全国有床診療所連絡協議会設立経過報告
- 7) 小型ポイラー取り扱い特別教育開催の件
- 8) 郡市医師会正副会長会議の報告

## 医師会月間行事

### 昭和63年12月度理事会

12月6日(火) 午後6時30分～

於「小蜂」

#### 議 題 (報告・協議事項)

- 1) 臨時総会開会の件
  - イ) 定款改正の件
  - ロ) 光市医師会裁定委員選出の件  
(竹中会長)
- 2) 周南三市医師会役員会の報告  
(福本副会長)
- 3) 光市広報に掲載する件 (福本副会長)  
光市広報への原稿の依頼があり、「ホームドクター(家庭医)をもとう」(光市医師会より一言)を投稿予定。
- 4) 医療情報システム担当理事協議会の報告  
(丸岩理事)
- 5) その他
  - イ) 忘年会の件
  - ロ) 貧血検査の件
  - ハ) 事務職員ボーナスの件
  - ニ) 光市医師会囲碁クラブを作る件

### 心電図研究会 (第6回)

下松・光市医師会合同

12月16日(金) 午後7時30分～

光市立病院講義室

#### 演 題 「心電図の読み方」

講 師 徳山中央病院 河野隆任先生

(症例1) 河野先生症例

主訴—胸部激痛発作 男—64才

(症例2) 赤崎先生症例

主訴一心窩部痛後意識消失発作 男一70才

## 光市医師会学校医部会

12月13日(火) 午後1時10分～

光市医師会館

### 議 題

- 1) 光市内中学生女子生徒の貧血検査について
- 2) その他

## 忘 年 会

63年12月15日(木) 午後7時～

於 金久別館

梅田理事の司会で開宴。竹中会長挨拶後、故大野先生・植木先生の御冥福を祈り黙禱。田尻先生の乾杯の音頭と続き、和やかなうちに宴が進み、福本副会長の万才三唱で閉宴となる。



## 県医師会行事・同関連行事出席

- (1) 郡市医師会正副会長会議  
 医師連盟郡市代表者会議  
 竹中会長出席—12月8日 県医師会館
- (2) 郡市医師会正副会長会議  
 福本副会長出席—12月8日 県医師会館
- (3) 保険委員・保険課合同協議会  
 富恵理事出席—12月10日 県医師会館

## 第1回 光市・下松医師会合同囲碁大会

63年12月4日(日) 午前9時30分～

於 下松市「ホテル幾久屋」

### 出席者

(光市医師会)

竹中昭二(5級)、中村国雄(初段)  
 田村勝司(初段)、赤崎信正(初段)  
 鳥枝道雄(1級)

(下松医師会)

加来節雄(4段)、綿貫専二郎(3段)  
 野見山正宏(3段)、山本泰彦(2段)  
 岸田健伸(5級)



## 中 村 国 雄

両医師会会長杯争奪がかかる下松・光市医師会合同囲碁会が新しく開催されることになり、我々光市医師会から竹中会長、田村勝司先生、赤崎信正先生、鳥枝道雄先生、中村(国)の5名が参加した。下松の先生方は皆錚錚たるメンバーで、加来鋼板病院長(四段)、綿貫先生(三段)、野見山先生(三段)、山本先生(二段)、岸田先生(5級)という顔触れであり、段位も実力も相当ひらきがあり、我々が教えを受けた感じがした。赤崎、鳥枝両先生は結婚式出席後ということで、一局のみであったが、

他の人達は五局を打たねばならなかった…一日に五局こなすということは思考力のいる囲碁では大変なこと、痛感させられた。我々光市医師会も、クラブ的なものを作り、年一回でもいゝから碁会を催し親睦と上達をはか度いものだと感じました。



成 績

	加 来	野 見 山	綿 貴	中 村	山 本	竹 中	岸 田	田 村	鳥 枝	赤 崎	勝 数	順 位
加 来	○ 15				○ 15	× -1	○ 15			× -15	3勝 +29目	準優勝 2
野見山	× -15	○ 15	○ 15			× -6		× -7			2勝 +2目	
綿 貴		× -15			× -15	○ 8	○ 15	× -5			2勝 -12目	
中 村		× -15			× -15	○ 15	○ 15		○ 15		3勝 +15目	3
山 本	× -15		○ 15	○ 15			○ 15	○ 7			4勝 +37目	優勝 1
竹 中	○ 1	○ 6	× -8	× -15				○ 5			3勝 -11目	
岸 田	× -15		× -15	× -15	× -15			× -15			0勝	
田 村		○ 7	○ 5		× -7	× -5	○ 5				3勝 +5目	4
鳥 枝				× -15							0勝 -15目	
赤 崎	○ 15										1勝 +15目	

＝ 編集後記 ＝

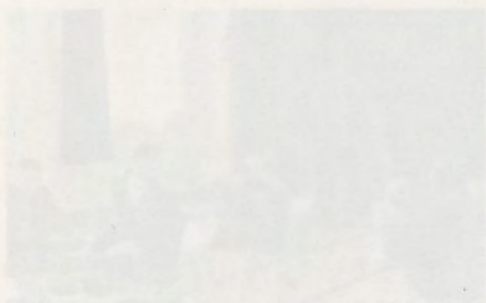
時代が新しい「平成」へと移って参りました。「平成」第1号の会報になります。

光市医師会定款も昨年12月の臨時総会で新定款案が議決され、衣換えをする事になりました。定款案ができる迄にそれぞれの立場で、それなりの苦勞があったと思いますが、中でも定款改定の委員長を務められた廣田先生は、原案を作られたり、まとめ

をされたり一番御苦勞をされたのではないのでしょうか。

「議決」と書いて思い出しますが、定款委員会で「議決」と「決議」の言葉をどのように使い分けるのか何時も話題になっていました。私は今もってはっきりいたしません。

今年もよろしくお願い致します。(吉村)



Faded text in the left column, likely containing news or reports from the association.

Faded text in the right column, likely containing news or reports from the association.

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社